

参加される皆様へ

本日は 国立大学法人北海道国立大学機構
オンライン個別説明会にご参加いただきまして
ありがとうございます。

ビデオ・マイクはオフに設定してください。

開始まで今しばらくお待ちください



北海道国立大学機構
Hokkaido Higher Education and Research System

国立大学法人北海道国立大学機構 オンライン業務説明会

日時：令和6年3月2日（土）



小樽商科大学



帯広畜産大学
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine



北見工業大学



説明会内容

1. はじめに
2. 北海道国立大学機構の紹介
3. 各大学の紹介
 - ・小樽商科大学の概要
 - ・帯広畜産大学の概要
 - ・北見工業大学の概要
4. 採用人数・異動について
5. 質疑応答

はじめに

令和4年4月より

小樽商科大学 帯広畜産大学 北見工業大学は
「北海道国立大学機構」

OTARU University of Commerce

KITAMI Institute of Technology

OBIHIRO University of
Agriculture and Veterinary Medicine

私たちはそれぞれの大学職員から
「北海道国立大学機構職員」

となりました。

北海道国立大学機構について

機構組織図について

国立大学法人北海道国立大学機構

機構事務局

経営
企画課

総務課

経理課

施設
企画課

監査室

小樽商科大学

企画総務課

管理課

教務課

学生支援課

学術情報課

帯広畜産大学

企画総務課

管理課

国際・地域連携課

教務課

入試課

学生支援課

研究支援課

情報管理課

北見工業大学

企画総務課

管理課

研究協力課

教務課

学生支援課

情報図書課

機構のミッション・ビジョンについて

ミッション	北海道経済・産業の発展と国際社会の繁栄並びにSDGsに示された持続可能な社会の実現に貢献するため、北海道内の実学を担う国立大学の教育研究機能を強化し、教育研究に対する国民の要請に応えるとともに、我が国の高等教育及び学術研究の水準向上を図る。
ビジョン	北海道国立大学機構は、商学・農学・工学を担う国立大学の結束と産学官金の強力な連携により、学びの探求と実践力の向上に意欲と情熱を持つ多様な学生・社会人が、国内外から北海道に数多く集う「実学の知の拠点」を形成し、ステークホルダーの期待に応じて社会の発展に貢献する。

※ミッション:短期的な目標 ビジョン:長期的な目標

教育

商・農・工の文理融合的・分野融合的な教育プログラムの提供

→各大学を横断する教育プログラムを提供し、表層的な知識にとどまらない「実学」(科学と人文学の区別を超えて物事の本質を明らかにし、社会的課題の解決に応用できる学問)の実践を図る。

研究

産官学金が連携する研究プロジェクトの推進

→分野融合研究によって産業振興や地域発展が期待される社会テーマ(AI/IoTスマート農畜産業、防災、観光、食品／ヘルスケア、物流、冬季スポーツ等)について、三大学と企業等が連携し、研究・開発を推進する。

機構独自の取り組みについて

・脱炭素化社会の実現

十勝・オホーツク地域における特定の市町村を対象に、地域の多種多様なデータを高度に分析して、産業・生活へのフィードバック手法等を開発し、地域の持続的な発展を図る。さらには、それを一般化することで北海道全体、日本全体へ適用可能とすることを目指す。

プロジェクトの構成

北海道国立大学機構

地域から排出される温室効果ガスを利用したスマート農畜産業の振興（農×工）

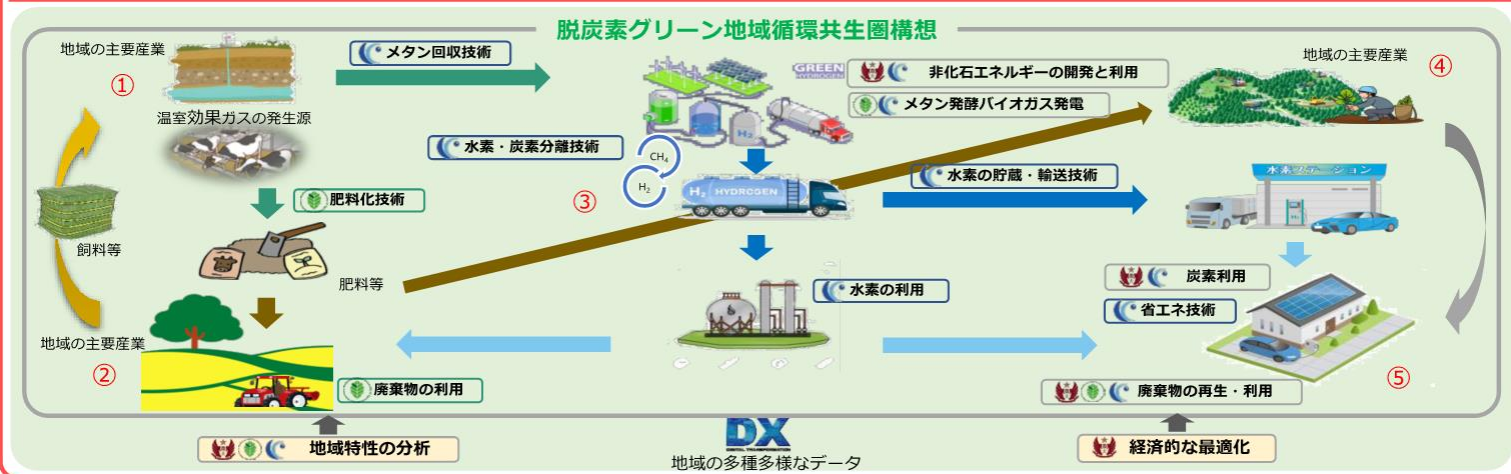
- ・温室効果ガスからの肥料等生成技術と地域の主要産業への利用方法の開発
- ・集積したメタンおよびそれから生産された水素を用いたスマート農業技術開発

温室効果ガスからの水素精製技術の開発と省エネ技術による脱炭素社会の構築（工×商）

- ・メタンの回収→水素・炭素分離→水素利用→省エネ技術で脱炭素社会の構築

脱炭素社会を展望した次代の地域産業形態の構築とその振興（商×農×工）

- ・経済性を考慮したエネルギー開発と水素の利用による脱炭素社会を展望した主要産業の振興
- ・脱炭素社会を展望した主要産業を対象とした体験型グリーンツーリズムの振興



機構独自の取り組みについて

・地域の道の自然を活用した観光開発プロジェクト

自然現象の発生の予測手法を新たに開発または制度の向上を図り、これらの予測の発信による観光ビジネスモデルの開発を目指す。

プロジェクトの構成

北海道国立大学機構

豊頃 シェーリーアイス



美瑛 四季彩の丘



陸別 低緯度オーロラ



防風林の紅葉



幻氷 流氷の蜃気楼



観光資源となっている自然現象の例（遭遇は偶発的もしくは時期が不確定）

・新たな自然景観の発掘（商×農×工）

景観・気象現象における観光資源化可能な要素の分析
これまで観光資源化されてこなかった景観・気象現象等の発掘調査



・自然現象の予測と結果の発信（農×工）

景観要素である植物の生育予測技術の開発
観光資源化が期待される気象現象等の発言予測技術の開発



・観光ビジネスモデルの開発（商）

自然景観の観光ニーズ調査と有効な情報発信方法の開発
観光ビジネスモデルの開発とマネジメント手法の開発



ニーズに応じた
情報発信と協
働プロジェクト
の展開

・自然現象への遭遇率の向上
→地域の魅力度向上 →地域経済の活性化

旅行会社



・ツアー企画
・旅行者、宿泊者へ
の情報提供

旅行者



・満足度の向上
・旅行先のPR

宿泊施設



・稼働率の向上
・ピーターの増加

・外部金融機関と連携した経済性の検証
・企業（北海道エアポート等）との新たな観光開発
・自治体との協働による地域振興

国立大学法人北海道国立大学機構事務局(本部)



管理系業務がメイン

- ・教職員の給与・賞与支給手続き
- ・予算の管理、旅費の支給
- ・三大学の教育連携に係る業務 など

各大学(小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学)

教務・研究支援系
業務がメイン

- ・学生支援・学生対応
- ・各大学の教員の研究支援
- ・授業計画の作成 など



北海道国立大学機構での仕事について

北海道国立大学機構での仕事の様子

日常業務風景



新任職員研修



イベント・レクリエーションなど



各大学の紹介



小樽商科大学



教員112名、職員70名

学部生2,232名、大学院生98名

(令和5年5月1日時点)

「実学・語学・品格」

創立110周年(2021年)



商大の魅力をご紹介！



特徴的な取組み

- グローバル教育
グローバルな視点から地域経済の発展に貢献できる人材の育成
- ユニバーサル・ユニバーシティ構想
2030年までに高等教育に触れられない道民の数をゼロにする



職場の雰囲気等

- 小規模な大学だから職員間の距離が近い
＋北海道国立大学機構設立により他二大学の職員との繋がりも！
- 若手職員も活躍しやすくアイデアが活かされやすい環境
(30歳以下の職員：男性8名、女性6名)
- 幅広い業務を経験することができる
- 学生へのきめ細かなサポートが可能



ワークライフバランス

- 札幌からの通勤が可能（職員の半数以上は札幌住み）
- 職員全員が年休計画を立て課内・係内で共有しているため
年休の取得がしやすい

帯広畜産大学



教員127名、職員81名
学部生1,139名、大学院生206名

概要

農学・畜産科学・獣医学に特化した
唯一の国立農学系単科大学

ミッション

「農場から食卓まで」をスローガンに、
「食を支え、暮らしを守る」人材の育成を
通じて地域及び国際社会に貢献する

人数：令和5年5月1日時点



倉舎が新しくなりました！

国際水準の教育

国際社会で活躍
する人材を育成



日本初
大学構内にできた
酒蔵「碧雲蔵」

エゾリスと
遭遇も！



帯広・畜大
の
魅力



アイスもあります
ぜひ！食べて
みてください！

晴天の日が多く
気持ちよく
過ごせます



お昼休みにスポーツ

自然豊かな土地

メリハリのある職場



北見市

人口:約12万人

面積:1,427.41km²(北海道第1位)

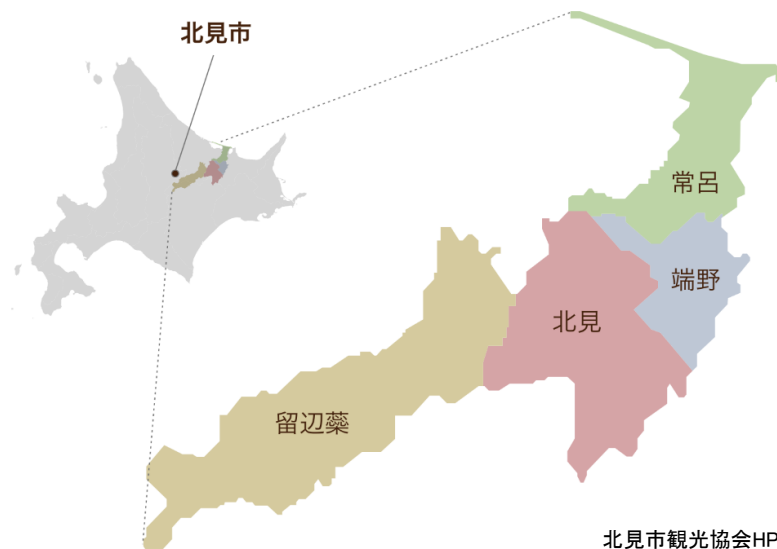
名物:焼肉、玉ねぎ、ハッカ、カーリング

北見工業大学

教員133名、職員83名

学部生1,670名、大学院生314名

「自然と調和するテクノロジーの発展」を
キーワードに地域特色のある教育研究を
推進する、オホーツク地域に立地する日本
最北の工科系単科大学



北見市観光協会HPより

北見工大の魅力

職場の雰囲気



夏祭り



昼食会



採用・異動について

採用と異動について

異動のパターン

2～3年ごとに人事異動があります。
機構本部(帯広)及び3大学(小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学)間で異動の可能性あります。

採用予定数(現時点)

小樽勤務 0名

帯広勤務 3名

北見勤務 1名

大学内

大学内で部署異動

例)北見工業大学 総務課→北見工業大学 学生支援課

機構内

北海道国立大学機構内で異動

例)小樽商科大学→国立大学機構本部→小樽商科大学

他機関

北海道国立大学機構以外の機関へ異動(出向)

例)帯広畜産大学→北海道大学, 文部科学省→帯広畜産大学

大学職員のキャリア ※あくまでイメージです。



平成29年 4月採用

小樽商科大学に採用
学生支援課(奨学金等担当)

教務・学生系

平成31年 4月異動

総務課(人事・労務担当)

総務・人事系

令和 4年 4月異動

異動・小樽から帯広へ
北海道国立大学総務課(人事・労務担当)

令和 7年 4月異動

異動・帯広から小樽へ
学術情報課(研究支援担当)

研究協力系

令和 9年 4月異動

総務課(人事・労務担当、主任昇任)
令和11年 係長昇任…?

総務・人事系

ご清聴ありがとうございました

よろしくお願ひします

